

部活動の地域連携・移行について

1. 「部活動改革」、「部活動の地域移行」とは

公立中学校において、これまで教員が受け持っていた部活動の指導を段階的に地域のスポーツ団体や文化団体など外部の団体に移行することです。

文部科学省（スポーツ庁・文化庁）は、段階的に移行を進め、休日部活動については、2025年度末までの移行を「地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す。」としています

2. なぜ「部活動改革」に取り組むのか

○これまでの部活動も問題点

①少子化の進行

少子化により、中学校の生徒数が減り、これまでの通りの部活動の存続が困難となっている。

⇒久米南中学校でも令和3年度から野球部が他市町村との合同部活動に

②教員の業務負担

これまでの部活動は教員による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教員にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導が受けられない場合が生じている。

⇒久米南中学校でも野球部において競技経験のない教員が顧問に

上記のような問題点から、まずは休日の部活動から段階的に地域移行へ

学校の部活動がなくなっても、子どもたちがスポーツ・文化芸術等に継続して親しむことができる機会の確保が必要

それに向けて今から取り組む必要がある